

平成23年雲南市議会3月定例会代表質問通告一覧表

平成23年3月1日

質問 順位	会 派 名	質 問 者		項 目	要 旨	備 考
		議席番号	氏 名			
1	清風雲南	21	板持 達夫	1.新庁舎建設について  2.雲南市立病院の改築について	<p>合併協議会において新庁舎の位置が絞り込まれず、3候補地を基本に合併協定がなされた。しかし、合併直後の平成17年、本市は財政非常事態宣言を余儀なくされた。財政状況は今だに厳しい。</p> <p>(1) 今、新庁舎を建設する必然性は何か。</p> <p>(2) 今、市民が新庁舎を望んでいるのか、その検証は。</p> <p>(3) 今回示された新庁舎建設基本計画では、事業費27億円が想定されているが、果たしてその額で可能か。</p> <p>(4) 財源については、合併特例債を活用するとされているが、35%は償還が必要であり、用地取得、移転補償等多額に亘る。果たして本市に財政負担が可能か。</p> <p>(5) 現庁舎の後利用はどうするか。</p> <p>本年4月1日をもって公立雲南総合病院が市立化される。病院経営について努力がなされているが、医師不足等厳しい状況にある。病院の改築は経営に影響をもたらす。早期の実施が望まれる。</p> <p>(1) 市立化された後、病院改築の時期は。</p> <p>(2) その財源計画はどのように考えるか。</p>	

			<p>3.医療と保険の融合による健康づくり拠点施設について</p> <p>4.総合センターの廃止・縮小計画について</p> <p>5.高速道開通と「さくらおろち湖」の相乗効果実現に向けて</p>	<p>加茂B&amp;G海洋センターの老朽化に伴い、新たに健康・リハビリ拠点として“健康温浴プール”が計画されている。</p> <p>(1) 健康温浴プールの建設時期はいつか。</p> <p>(2) 効果をどのように考えているか。</p> <p>(3) 財源の裏付けはどうするか。</p> <p>総合センターは平成27年度までに木次を廃止し、5センターを職員規模40人程度に縮小する計画である。合併後、総合センターは住民の拠りどころであった。</p> <p>(1) 住民の理解をどのように得るか。</p> <p>(2) 総合センターの意味はなくなり、単に取り次ぎ出張所である。災害時(雪害時)の対応など不可能と考えるが、それでよいのか。</p> <p>(3) 一朝有事の際、各町に対し本庁が機能するのか全く疑問である。縮小する前に模擬訓練を実施すべきだ。</p> <p>今春、尾原ダムが完成し「さくらおろち湖」として出現する。また、高速道は吉田・掛合IC～三刀屋・木次ICが平成23年度供用予定、三次JCT～吉田・掛合ICが平成24年度供用予定である。</p> <p>(1) 高速道開通延長により、雲南市がストロー現象とならないよう対策をとるべきだ。</p> <p>(2)そこで、三刀屋・木次ICから雲南市に乗降する観光スポットとして「さくらおろち湖」を活用すべきと考えるが、その対策は。</p>	
--	--	--	---	--	--